

ごみやリサイクルに関する話題をお届けします。

▶ 問合せ 産業課産業振興係 ☎ 25-3436

ごみの分別をマスターしよう

〜生ゴミ編〜

家庭ごみの中で最も多いのが「生ゴミ」です。ごみの排出量を減らすには、いかに「生ゴミ」を減らすかが大きな課題になっています。

生活シーンに合わせた5つの減量ポイント

1 無駄なものは買わない

買物前に冷蔵庫の中をチェック。事前チェックすることで、ムダを減らせます。

2 賞味期限と消費期限

賞味期限はおいしく食べられる期限です。消費期限は過ぎたら食べないほうがいい期限。こちらは期限を守りましょう。

3 食べきれぬ量だけ作る

食べきれぬ量だけ作りましょう。食材を残さないように、使い切りましょう。

4 水気をしっかり切る

生ごみは水気を切ってから捨てましょう。ごみのかさが減り、ごみ袋の節約にもなります。

5 生ごみの堆肥化に

チャレンジ

生ごみの堆肥化リサイクルがおすすめです。堆肥化することで資源になり、家庭菜園や花壇などに利用できます。

村では、家庭から出る生ごみの減量を進めるため、家庭用の生ごみ処理機やコンポストを購入された方に対して補助金を支給しています。



生ごみを捨てる時はしっかりと水

気を切るなど、家庭でできる「ひと手間」にご協力をよろしくお願ひします。



地域おこし協力隊通信

▶ 問合せ 企画課地域振興係 ☎ 25-3442



横浜市との繋がり

地域おこし協力隊の綿貫秀人です。

横浜市で開催された「新横浜パフォーマンス」で村の農産物などの販売やPR活動を行いました！

会場が駅前広場ということもあり、駅を利用する方などにも村のPRができたのではないかと思います。

販売ブースには、開始時間前から昭和村の野菜を目



昭和村地域おこし協力隊 綿貫 秀人 隊員

道の駅「あぐりーむ昭和」旬菜館で活動中！



当てに多くのお客様に来ていただきました。販売開始すると飛ぶように売れていき、ものの1時間でほとんどが売れてしまいました。もっと用意していけばよかったと反省するところではありましたが、イベントを通じて1人でも多くの方が昭和村に興味を持ち、一度でもいいので足を運んでもらえたら嬉しいです。